

2019年1月15日
愛知製鋼株式会社

知多工場 圧延鋼材生産高累計 5,000万トンを達成

愛知製鋼株式会社（本社：愛知県東海市、代表取締役社長：藤岡高広）は、知多工場で熱間圧延鋼材の生産高累計5,000万トンを達成し、本日1月15日、同工場内第2棒鋼圧延工場で記念式典を執り行いました。

当社は、「よきクルマは、よきハガネから」という創業者 豊田喜一郎の熱い思いのもと、1940年に創業し、その主要生産拠点である知多工場は、1944年に操業を開始しました。同工場では、その時代の最新の設備・技術を駆使した圧延機を用い、常にお客様のニーズにお応えしてきたことで、稼動以来75年目の節目での生産記録到達となりました。

同工場では、モータリゼーション進展による需要増に対応するため、絶え間ない生産性向上努力に加え、自動車の軽量化・高出力化に対応する高強度で被削性の高い鋼の開発・量産に取り組んできました。具体的には、圧延ラインの増設、3ロールミルの採用や制御圧延等の新しい圧延技術を確立するとともに、精整工程における連続冷却装置やロボットなどの採用により、リードタイム短縮と品質向上を両立させ、鋼材を短納期かつ安定的にお客様にお届けする体制を構築してきました。

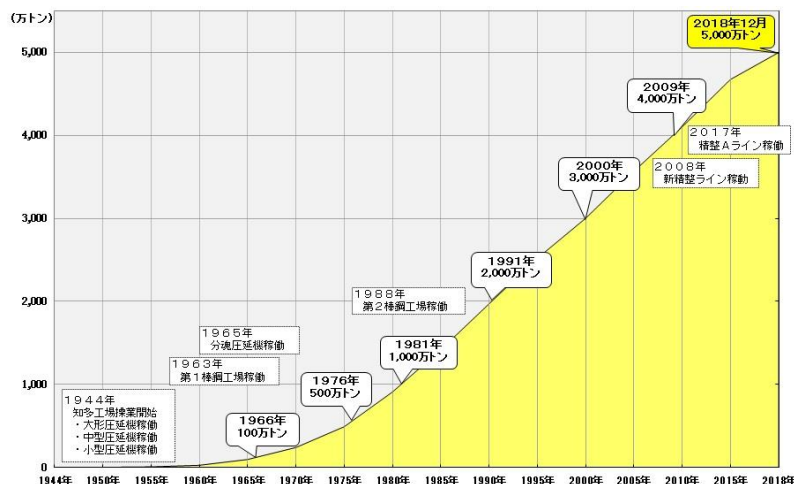
今後も、多様化するお客様のご要望に対応すべく、競争力のある特殊鋼・ステンレス鋼の生産に取り組んでいきます。そして、素材メーカーとしての強みを、様々な事業領域で発展させながら、付加価値の高い製品をお客様に提供し、「素材で新たなスマート社会を共創」する形を実現していきます。



記念式典の様子

【参考】知多工場 圧延鋼材生産のあゆみ

達成トン数	年月
(生産開始)	1944年5月
500万トン	1976年2月
1,000万トン	1981年11月
2,000万トン	1991年3月
3,000万トン	2000年7月
4,000万トン	2009年8月
5,000万トン	2018年12月



以上